

第 2 章

中央市の概況

第2章 中央市の概況

第1節 位置・地勢

本市は山梨県のほぼ中央に位置し、東は甲府市、西は南アルプス市、南は市川三郷町、北は昭和町に接しており、総面積は31.69 km²で山梨県全体の0.71 %を占めています。

釜無川や笛吹川により形成された沖積平野の地域と、御坂山系からなる丘陵・山間地域と二つの地理的特性を持っており、両地域は笛吹川によって隔てられています。平坦部は田富、玉穂の2地区が釜無川と笛吹川に挟まれた形で位置しており、豊富地区は丘陵地から山間部に広がる地域となっています。

交通面ではJR身延線が田富、玉穂地区の間を南北に走っており、それに並行して主要地方道甲府市川三郷線が通っています。また、玉穂地区から豊富地区にかけて甲府中央右左口線が通っています。

近年では中央市を東西に横切るように、新山梨環状道路が中部横断自動車道の南アルプスICから甲府市西下条町まで(約9km)南部区間として共用されており、将来的には全長約43kmの甲府盆地を周回する環状道路として計画されています。さらに、リニア中央新幹線の計画ルートが新山梨環状道路とほぼ並行しており、近隣の甲府市大津町には(仮称)リニア山梨県駅(以下

「リニア山梨県駅」という。)が計画されています。

現在、2027年に東京の品川から名古屋までの間を開業予定としたリニア中央新幹線の建設が着々と進められています。

図表2-1 中央市の概況



第2節 土地利用

本市の都市計画区域の土地利用状況を図表2-2及び図表2-3に示します。田畑の農地が891.2 ha (32.7%)と最も高く、次いでその他の自然地が411.1 ha (15.1%)となり、続いて住宅用地が393.5 ha (14.4%)、道路用地315.1 ha (11.6%)となっています。

図表2-2 都市計画区域の土地利用状況

(単位：ha)

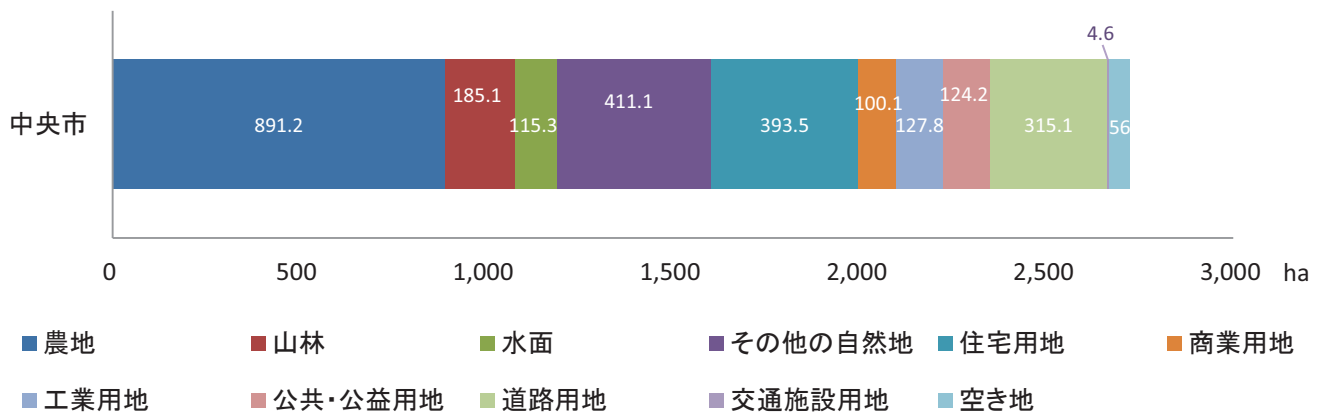
	農地	山林	水面	その他の自然地	住宅用地	商業用地
甲府都市計画区域	568.0	3.8	90.8	269.0	308.0	90.9
笛吹川都市計画区域	323.2	181.3	24.5	142.1	85.5	9.2
計	891.2	185.1	115.3	411.1	393.5	100.1

	工業用地	公共・公益用地	道路用地	交通施設用地	空き地	合計
甲府都市計画区域	106.0	105.3	232.8	4.5	51.9	1,831.0
笛吹川都市計画区域	21.8	18.9	82.3	0.1	4.1	893.0
計	127.8	124.2	315.1	4.6	56.0	2,724.0

注) 都市計画区域外は含んでいません。

出典：平成29年度 中央市都市計画基礎調査報告書

図表2-3 都市計画区域の土地利用状況



出典：平成29年度 中央市都市計画基礎調査報告書

第3節 森林

本市の地形はほとんど平地で、森林の地域は南部に集中しています。森林割合は、17.7%と山梨県の中では昭和町に次いで2番目に森林面積が少ない市町村となっています。図表2-4に山梨県内森林面積市町村の森林面積を示します。

図表2-4 森林の面積（森林割合が多い順）

市町村名	総面積(ha)	森林面積(ha)	割合(%)
丹波山村	10,130	9,871	97.4
早川町	36,996	35,255	95.3
小菅村	5,278	4,971	94.2
道志村	7,968	7,471	93.8
南部町	20,087	17,644	87.8
大月市	28,025	24,276	86.6
鳴沢村	8,958	7,744	86.4
西桂町	1,522	1,295	85.1
都留市	16,163	13,623	84.3
富士川町	11,200	9,194	82.1
上野原市	17,057	13,968	81.9
山梨市	28,980	23,696	81.8
身延町	30,198	24,320	80.5
甲州市	26,411	21,129	80.0
北杜市	60,248	45,846	76.1
南アルプス市	26,414	19,328	73.2
富士河口湖町	15,840	11,475	72.4
富士吉田市	12,174	8,512	69.9
韮崎市	14,369	9,254	64.4
甲府市	21,247	13,631	64.2
市川三郷町	7,518	4,793	63.8
忍野村	2,505	1,516	60.5
笛吹市	20,192	11,821	58.5
山中湖村	5,305	3,091	58.3
甲斐市	7,195	3,151	43.8
中央市	3,169	560	17.7
昭和町	908	0	0.0
合計	446,057	347,435	

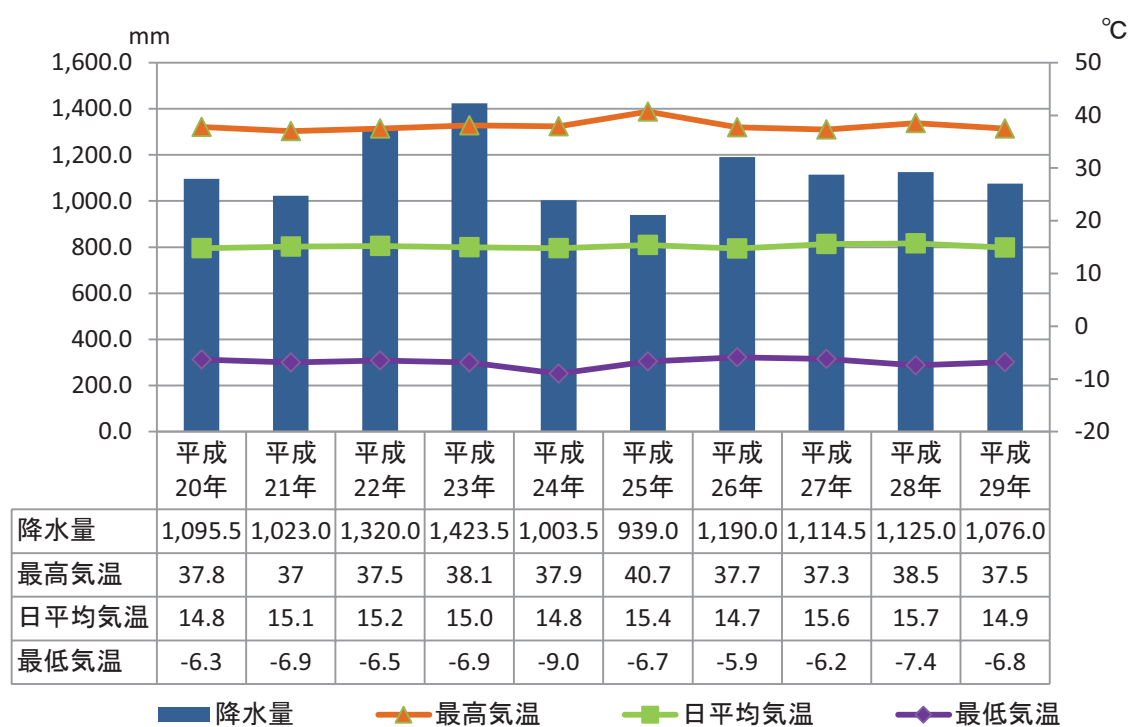
出典：平成29年度山梨県林業統計書

第4節 気象

甲府地方気象台の観測値における過去10年間の状況を図表2-5に示しました。最高気温、最低気温、日平均気温はあまり変化がみられませんでした。降水量は平成22年と平成23年が多く、他の年は1,100 mm前後でした。

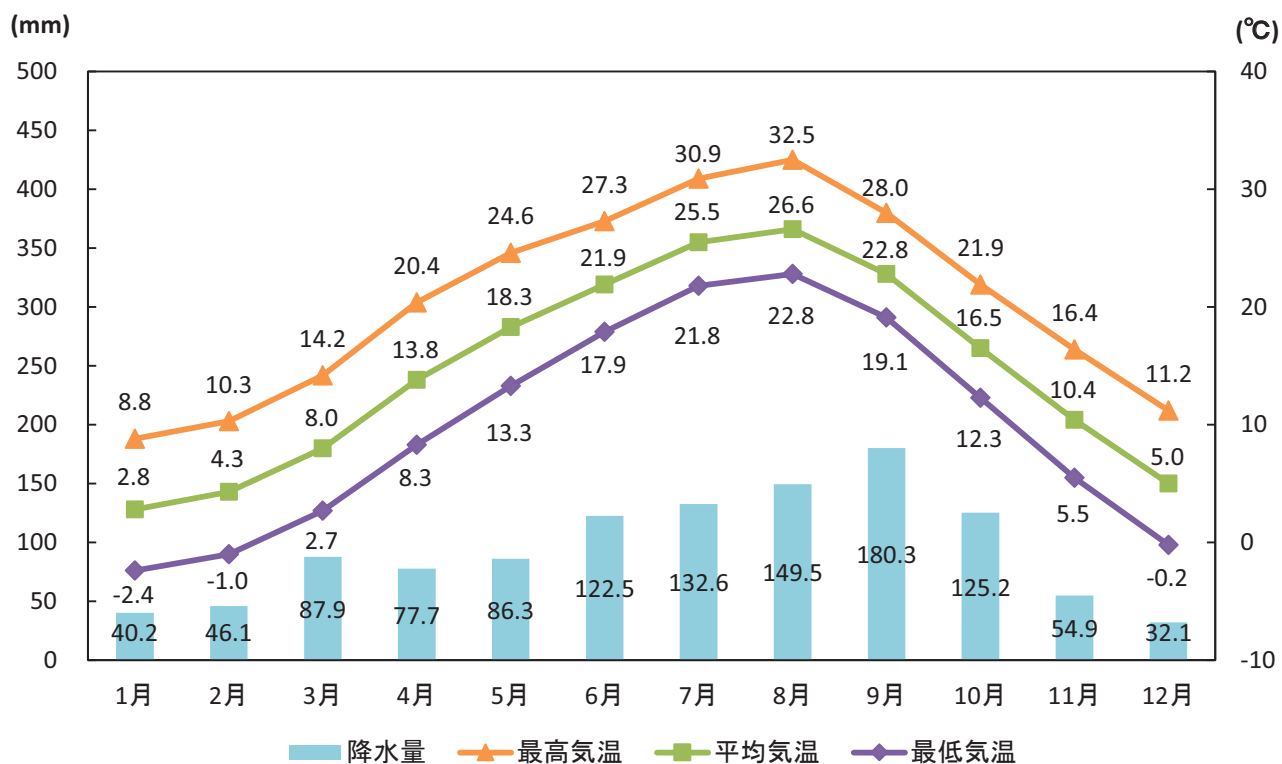
また、図表2-6に甲府地方気象台平年値(1981年～2010年)を示します。

図表2-5 過去10年間の甲府地方気象台観測地(気温・降水量)



出典：山梨県気象・地震年報

図表2-6 甲府地方气象台平年値 (気温・降水量)



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
降水量(mm)		40.2	46.1	87.9	77.7	86.3	122.5	
気温(°C)	最高	8.8	10.3	14.2	20.4	24.6	27.3	
	平均	2.8	4.3	8.0	13.8	18.3	21.9	
	最低	-2.4	-1.0	2.7	8.3	13.3	17.9	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
降水量(mm)		132.6	149.5	180.3	125.2	54.9	32.1	1,135.2
気温(°C)	最高	30.9	32.5	28.0	21.9	16.4	11.2	-
	平均	25.5	26.6	22.8	16.5	10.4	5.0	-
	最低	21.8	22.8	19.1	12.3	5.5	-0.2	-

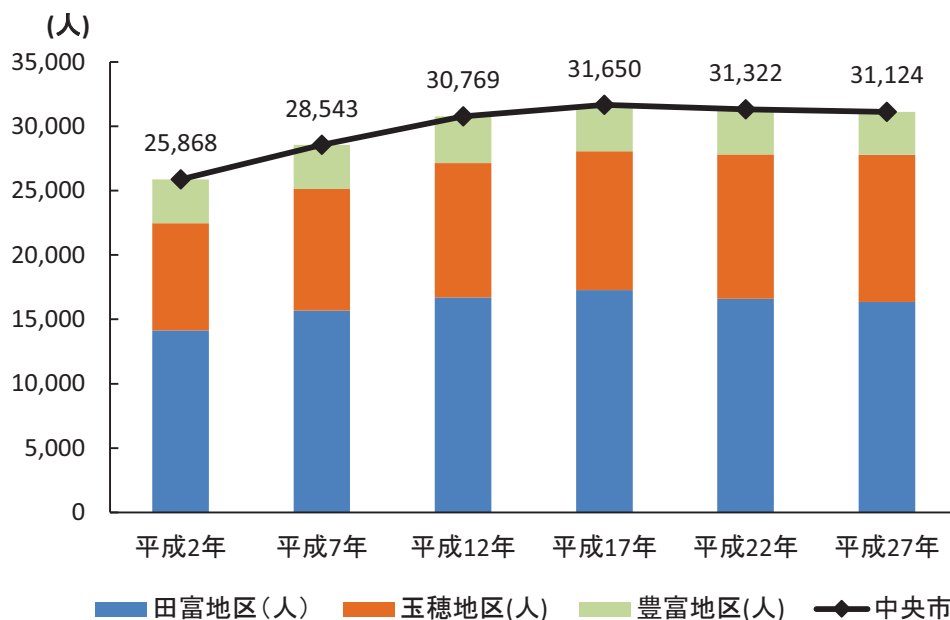
第5節 人口・世帯

5-1 人口の推移

本市の人口は、平成17年までは増加し続けていましたが平成22年から減少傾向にあります。市内3地区の人口推移をみると、玉穂地区は平成22年、平成27年と増加している一方、田富・豊富地区は減少しています。

図表2-7、図表2-8に市内3地区の人口の推移を示します。

図表2-7 中央市3地区の人口推移



図表2-8 中央市3地区の人口推移

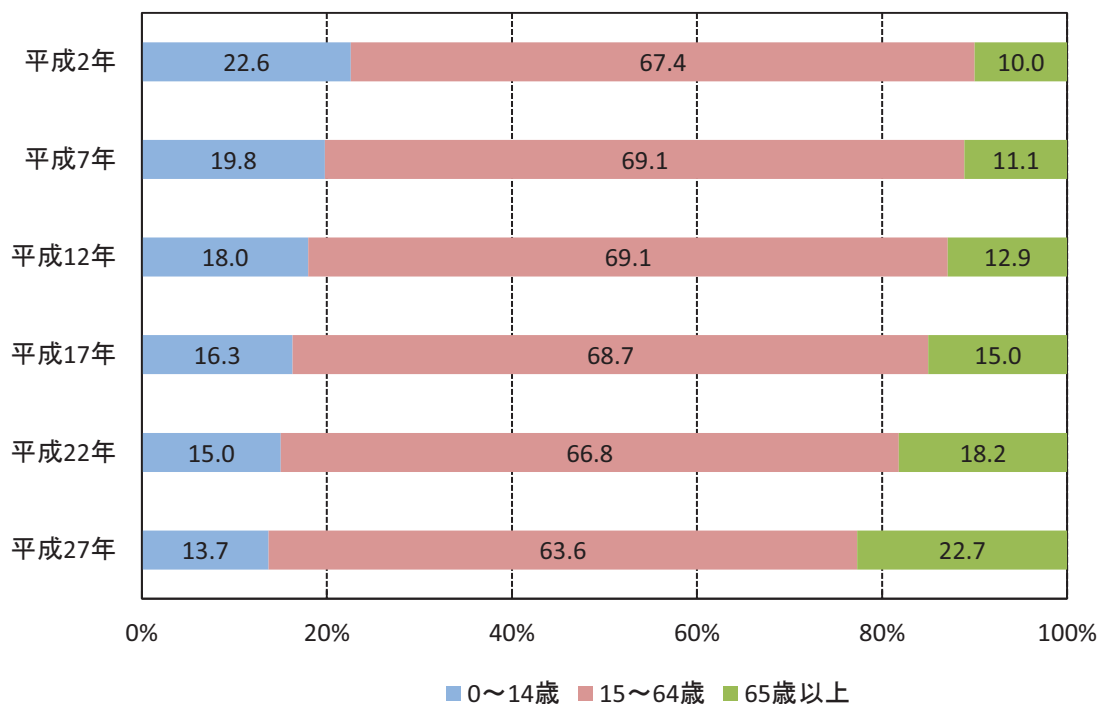
	田富地区(人)	玉穂地区(人)	豊富地区(人)	中央市(人)
平成2年	14,150	8,325	3,393	25,868
平成7年	15,674	9,460	3,409	28,543
平成12年	16,694	10,443	3,632	30,769
平成17年	17,267	10,787	3,596	31,650
平成22年	16,612	11,207	3,503	31,322
平成27年	16,352	11,434	3,338	31,124

出典：国勢調査

5-2 年齢3区分別人口の推移

本市の年齢区分別の推移を見ると65歳以上の人口割合は増加傾向にあり、平成27年には22.7%となっています。一方で、0～14歳の年少人口の割合は13.7%まで減少しており、少子高齢化が進んでいることがうかがえます。

図表2-9 年齢3区分別人口の推移



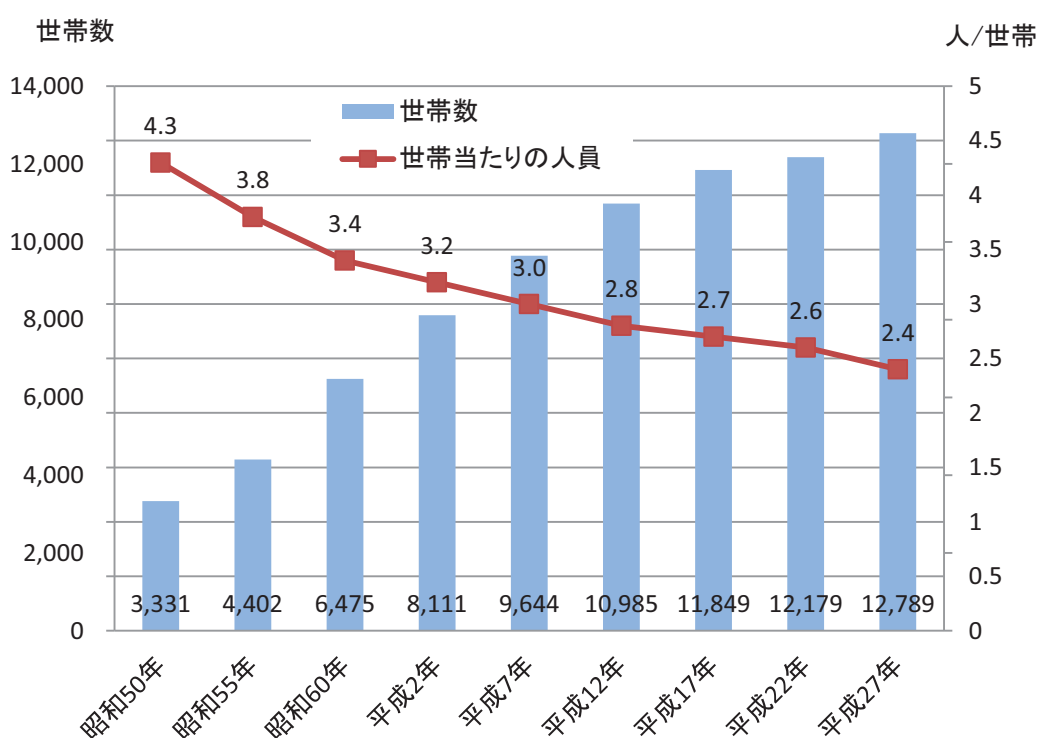
出典：国勢調査

5-3 世帯数の推移

中央市の世帯数は年々増加傾向にあります。しかし、1世帯当たりの人員数は減少しており、平成27年度においては、2.4人となっています。これは、核家族化の進行とともに、高齢者の単身世帯の増加及び少子化といった社会的状況が進行していることがうかがえます。

図表2-10に世帯数と世帯当たりの人員数の推移を示します。

図表2-10 世帯数と世帯当たりの人員数の推移

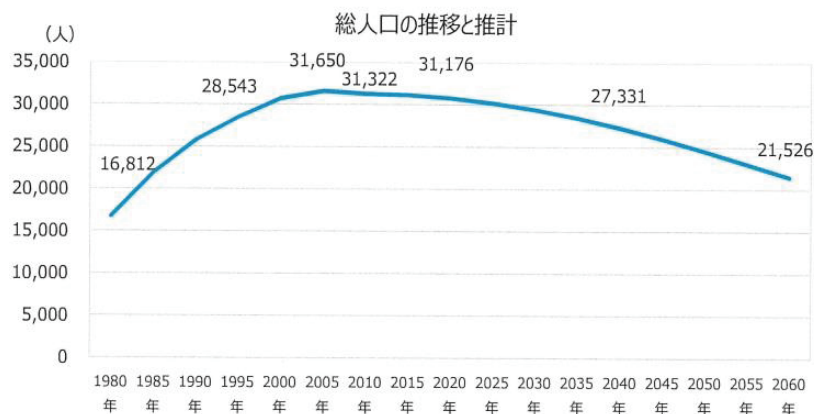


出典：国勢調査

5-4 人口推移と将来推計

中央市で刊行した「中央市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」では、国勢調査と国立社会保障・人口問題研究所による推計に基づいて、過去の総人口と、今後人口減少に対する施策を講じなかった場合に想定される総人口が記されており、それらを図表2-11に示します。

図表2-11 総人口の推移と推計



年	2005年	2010年	2040年	2060年
人口	31,650人	31,322人	27,331人	21,526人

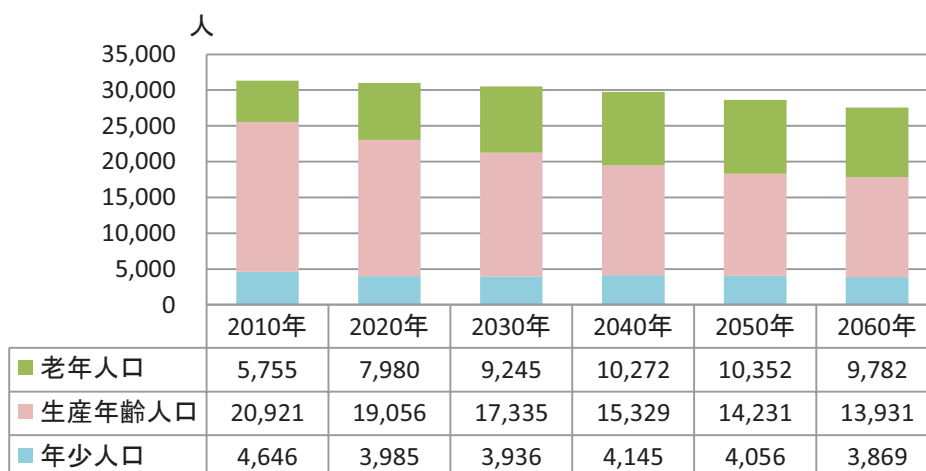
【出典】国勢調査及び住民基本台帳人口移動報告(2015年以降については社人研推計)

出典：中央市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

5-5 人口将来展望

本市の将来像「実り豊かな生活文化都市」を実現し、長期にわたって活力あるまちを持続していくためには、人口の減少を最小限に食い止めることが最重要課題であると、「中央市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」では人口の将来展望としてまとめています。これによると、今後の人口減少によって生ずる諸問題を市民と共有しつつ、本市の特性や優位性を最大限に生かした施策に取り組むことで、人口減少を最小限に止めることは可能であり、2060年時点での本市の人口将来展望を、見込みにておよそ28,000人としています。

図表2-12 将来展望における年齢3区分別人口



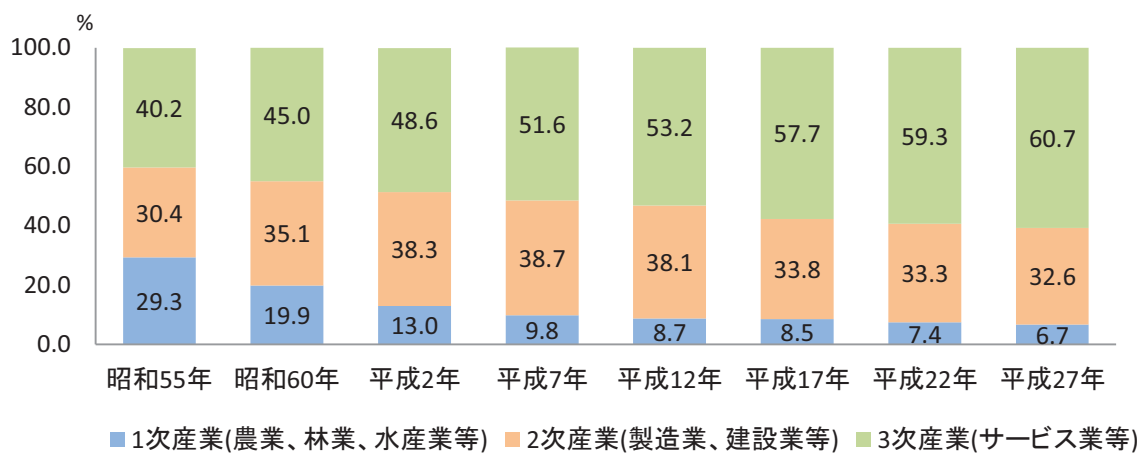
出典：中央市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

第6節 産業

6-1 産業一般

本市の産業別就業人口の構成比は、図表2-13のとおりです。第3次産業が増加する一方、第1次産業は減少している状況です。第2次産業はあまり大きな変化は見られませんが、平成7年以降は減少傾向にあります。

図表2-13 産業別就業人口の推移



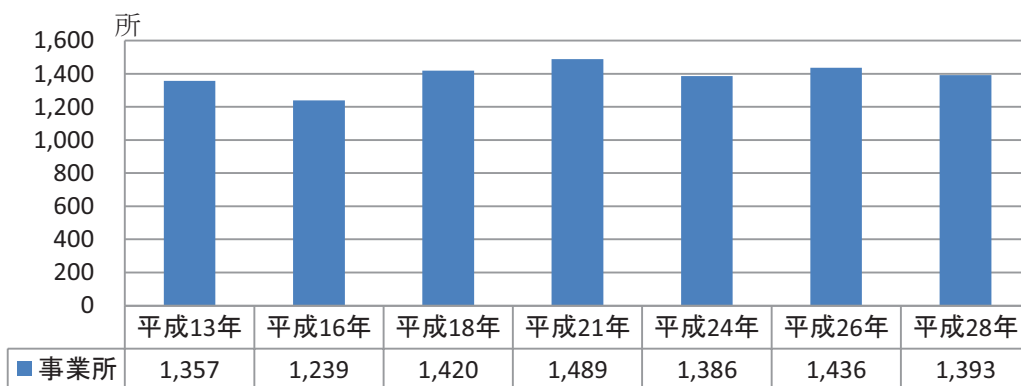
注 1) 小数点第2位を四捨五入しているため、100%にならないものがあります。

注 2) 分類不能の産業を除いて、総数を算出しています。

出典：国勢調査

民営事業所数の推移を図表2-14に示します。民営事業所は平成24年以降横ばい状態です。

図表2-14 事業所(民営)総数の推移

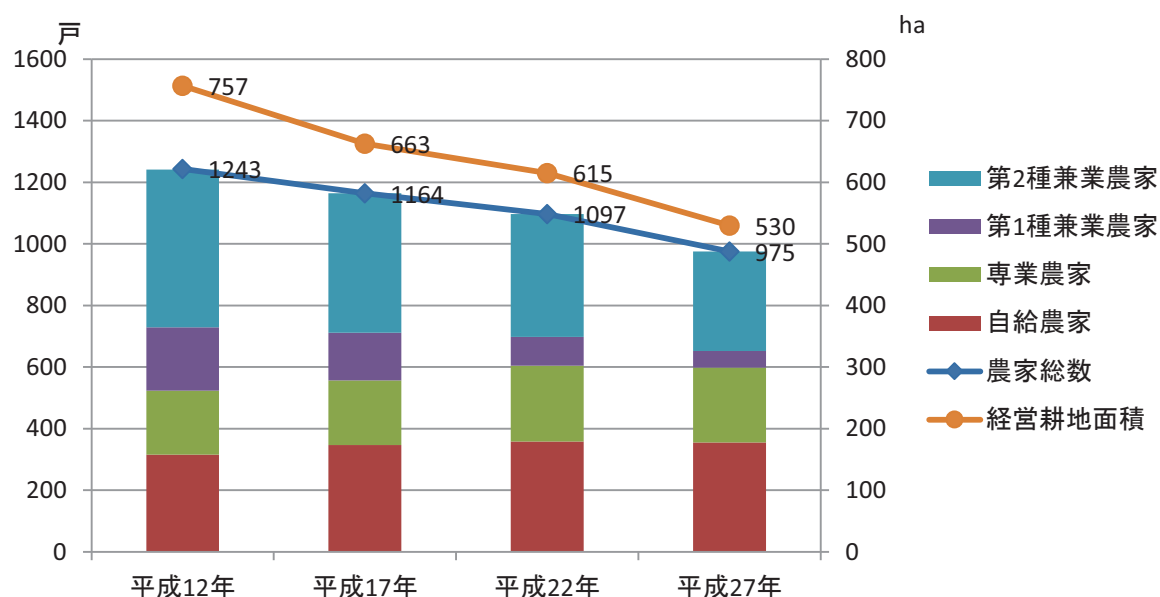


出典：事業所・企業統計調査(平成18年まで)、経済センサス(平成21年以降)

6-2 農業

図表2-15、図表2-16に本市の農家数と経営耕地面積の推移を示します。平成12年は農家数1,243戸、経営耕地面積757haでしたが、平成27年には農家数975戸、経営耕地面積530haまで、減少しています。

図表2-15 本市の農家数と経営耕地面積の推移



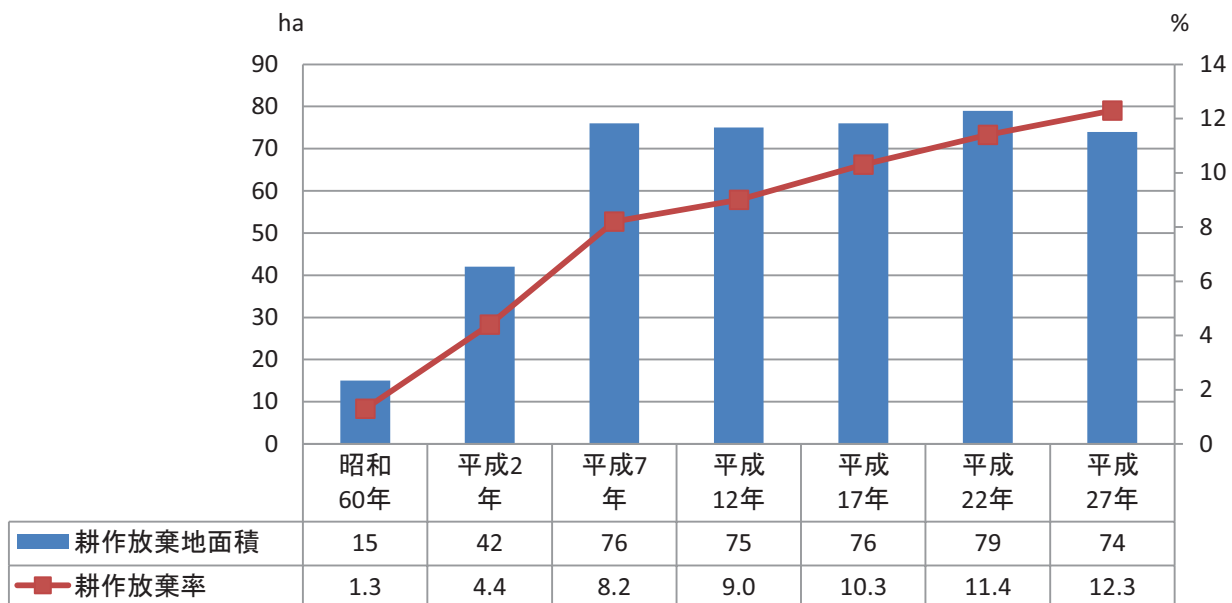
図表2-16 本市の農家数と経営耕地面積の推移

区分	農家戸数							経営耕地面積 (ha)
	総数 (戸)	自給的農家	販売農家					
			専業農家	兼業農家				
				第1種	第2種			
平成12年	1,243	318	925	207	718	206	512	757
平成17年	1,164	347	817	210	607	154	453	663
平成22年	1,097	358	739	246	493	94	399	615
平成27年	975	355	620	243	377	54	323	530

出典：農林業センサス

一方、耕作放棄地面積の推移を図表 2-17 に示します。耕作放棄地面積は平成 7 年に急増しましたが、それ以降は横ばい状態で増加していません。平成 27 年は 74 ha、耕作放棄率 12.3%にとどまっています。

図表 2-17 耕作放棄地面積等の推移



[耕作放棄率 (%) = 耕作放棄地面積 ÷ (経営耕地面積 + 耕作放棄地面積) × 100]

注) 非農家が所有する土地は含んでおりません。

出典：農林業センサス

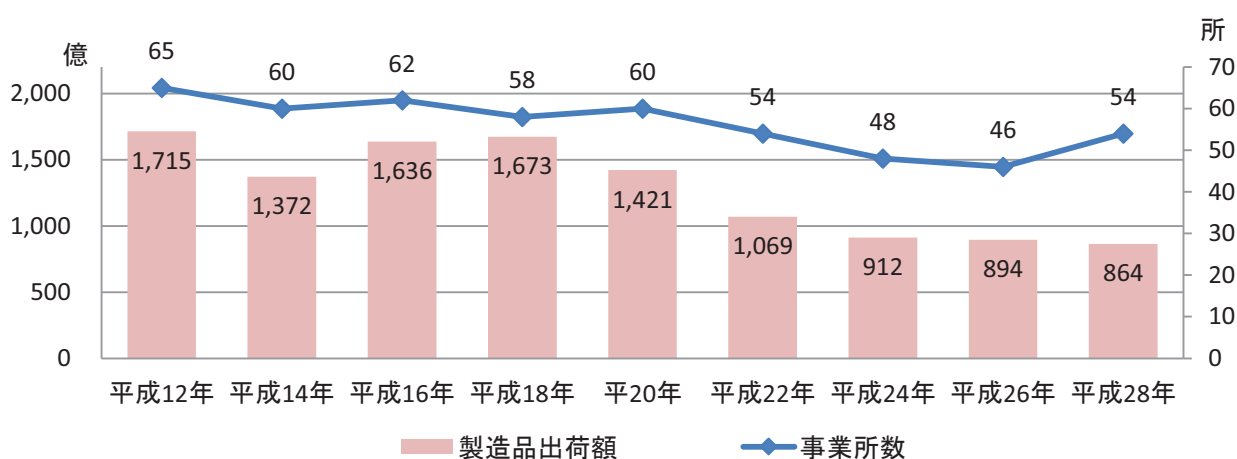
6-3 商工業

図表2-18に製造業による製造品出荷額の推移を示します。事業所数は年々減少傾向にあり、それとともに製造品出荷額も減少していることがうかがえます。

また、商業関係の年間商品販売額及び事業所数を図表2-19に示します。

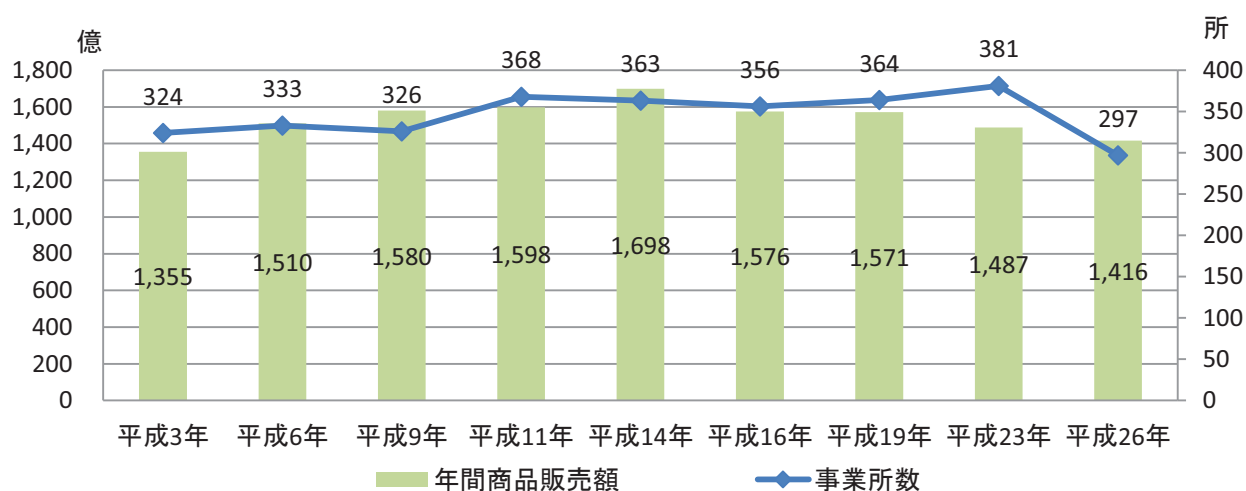
事業所数は平成23年をピークに平成26年は減少傾向にあります。一方、年間商品販売額は平成6年以降横ばい傾向でしたが、平成23年以降減少しています。商工業ともに平成23年の欧州経済危機による影響による円高や東日本大震災の影響も考えられます。

図表2-18 製造品出荷額等の推移



出典：山梨県工業統計調査

図表2-19 年間商品販売額等の推移



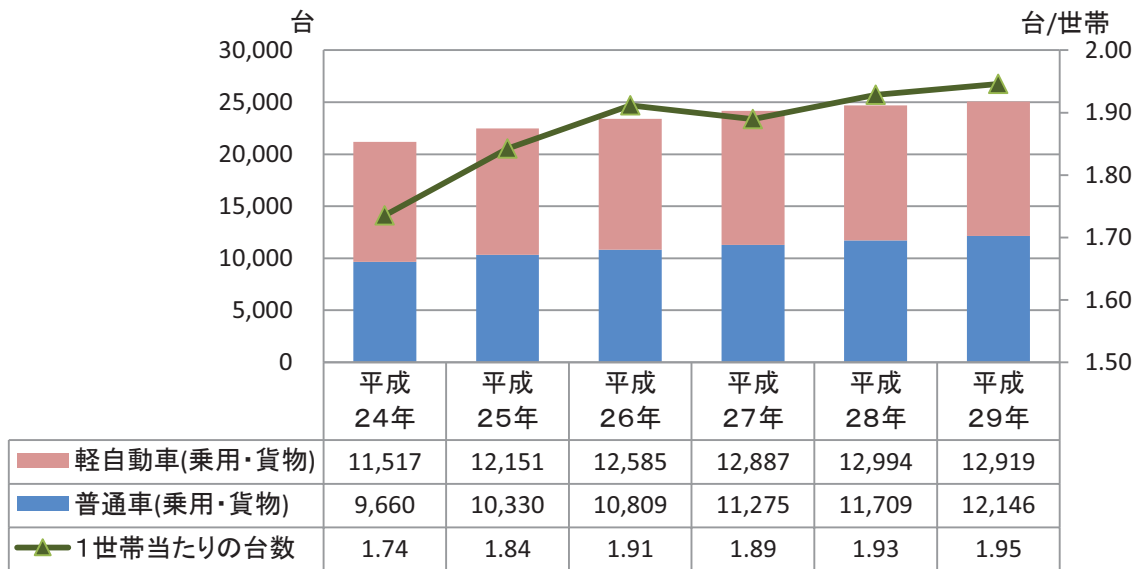
出典：山梨県統計データバンク

第7節 自動車台数

中央市の1世帯当たりの保有台数を図表2-20に示します。普通車、軽自動車ともに保有台数が年々増えています。

また、1世帯当たりの自動車保有台数も車両台数の増加に伴い増えています。

図表2-20 自動車保有台数の推移（二輪車を除く）



出典：国土交通省関東運輸局、山梨県軽自動車協会

第8節 市の主な公共施設

市の主な公共施設を図表2-21にまとめました。

図表2-21 市の主な公共施設

区分	公共施設
庁舎	中央市役所（田富庁舎、玉穂庁舎、豊富庁舎） ※2019年5月より分庁方式から、本庁舎（田富）、支所（玉穂、豊富）となります
学校	田富小学校、田富北小学校、田富南小学校、三村小学校、玉穂南小学校、 玉穂南小学校下河東分校、豊富小学校 田富中学校、玉穂中学校、玉穂中学校下河東分校
保育園	田富第一保育園、田富第二保育園、田富第三保育園、田富北保育園、玉穂保育園、豊富保育園
児童館	田富中央児童館、田富わんぱく児童館、田富ひばり児童館、田富杉の子児童館、 田富ひまわり児童館、田富つくし児童館、田富すみれ児童館、 玉穂中央児童館、玉穂北部児童館、玉穂西部児童館、豊富児童館
保健福祉施設	田富福祉公園コミュニティセンター、田富総合会館、中央市・昭和町障がい者相談支援センター、玉穂勤労健康管理センター、玉穂総合会館、 豊富健康福祉センター、シルクの里デイサービスセンター、豊富保健センター
体育施設	田富市民体育館、田富市民プール、玉穂B&G海洋センター、与一弓道場、 浅利弓道場、浅利テニスコート、農業者トレーニングセンター
図書施設	田富図書館、玉穂生涯学習館、豊富図書館（分館）
農政・商工施設	四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所、 豊富農産物直売所、与一味工房、豊富農業者研修センター、 道の駅「とよとみ」交流促進センター
防災施設	田富コミュニティ防災センター、田富防災会館
下水道施設	田富よし原処理センター、とよとみクリーンセンター
公園・その他の施設	田富ふるさと公園、玉穂ふるさとふれあい広場、豊富シルクの里公園、 豊富農村広場、豊富郷土資料館、シルク工芸館ふれあい館シルクふれんどりい、 大鳥居ふれあいプラザ、浅利川ふれあい館、農村公園

出典：中央市ホームページ